

Access (交通のご案内)

*鉄道

中部国際空港	東京	大阪
名鉄空港線 特急 約50分	JR東海道 新幹線 のぞみ 1時間45分	JR山陽 新幹線 のぞみ 45分

名古屋

近鉄名古屋線 準急・急行 約8分	JR東海関西本線 快速 約10分
------------------------	------------------------

蟹江

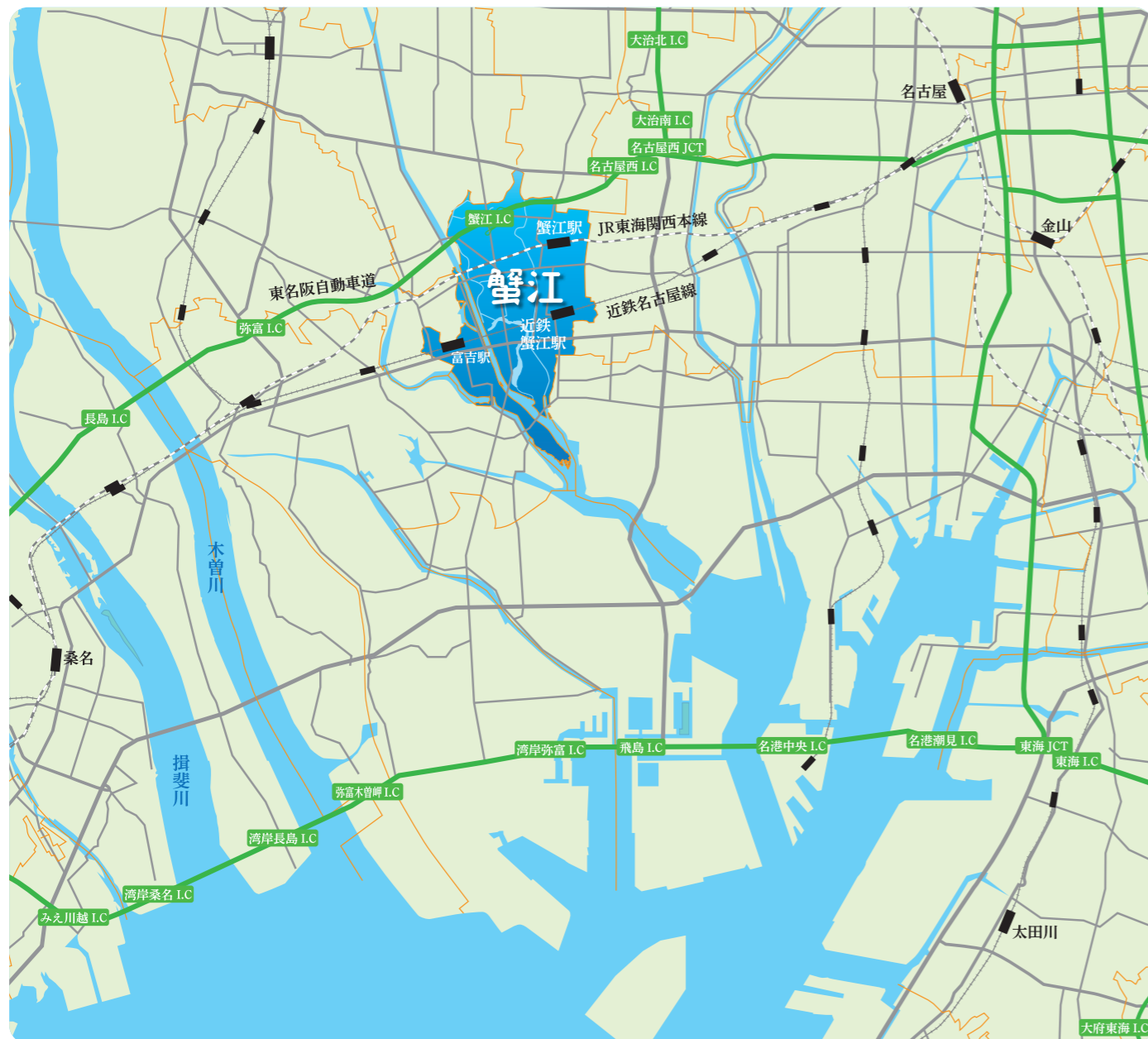
*自動車

中部国際空港	東京	大阪
知多有料道路・ 名古屋高速道路 約45分	東名高速 道路 約5時間	名神高速 道路 約2時間

名古屋

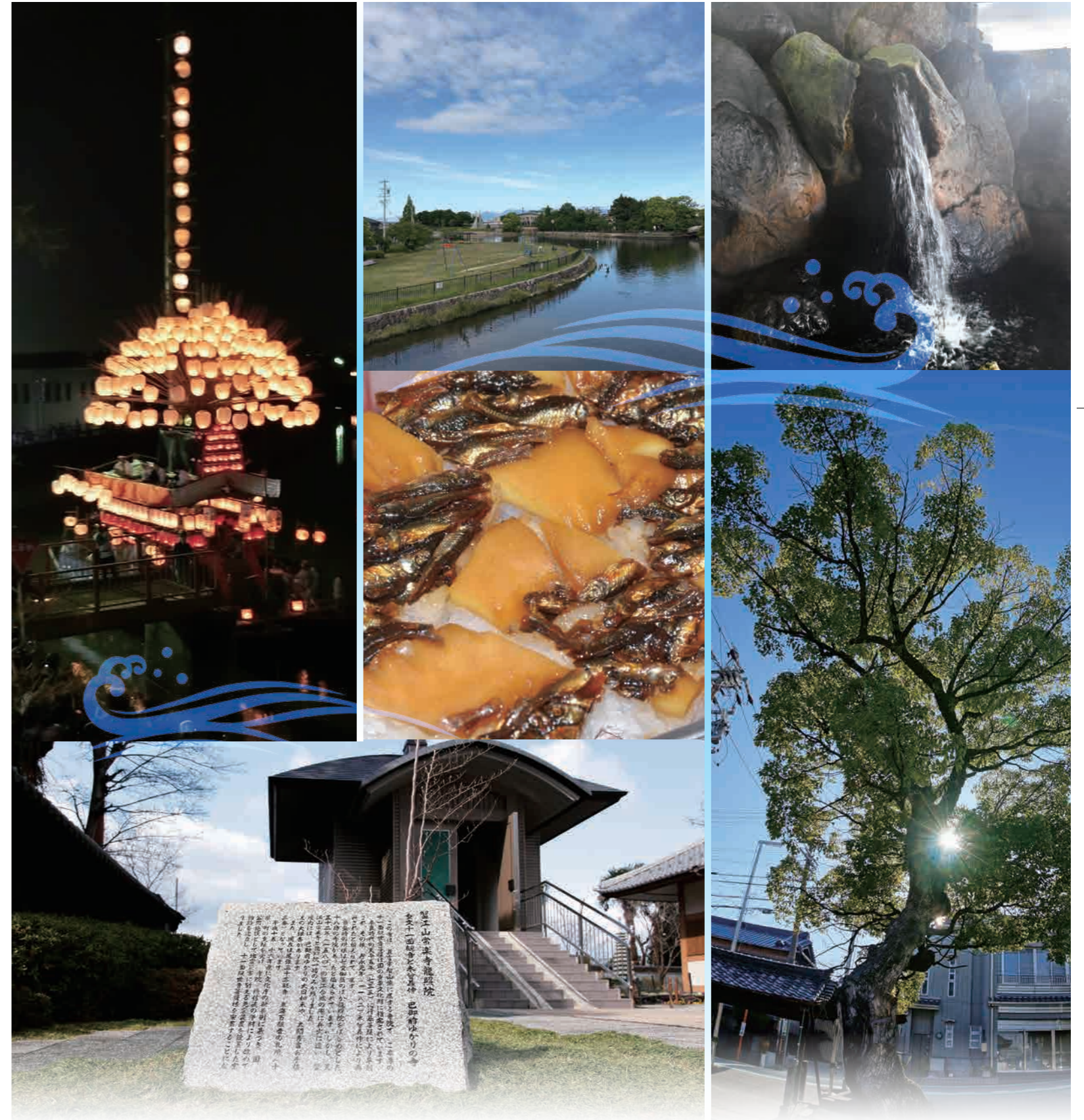
名古屋高速道路・ 東名阪自動車道 約20分

蟹江



水郷のまち

あいち
蟹江





祭り

須成祭

2016年12月、須成祭を含む「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産に登録されました。また国指定重要無形民俗文化財でもある「須成祭」は400年以上の伝統を持ち、全国に広く分布している「天王信仰」の流れを組む祭りです。内容は「車楽船行事」と「神殿流し」に関わる行事からなる川祭りです。例年8月第1土曜日の宵祭、翌日曜日の朝祭が祭りのメインになります。別名「100日祭」と呼ばれ、儀礼や行事が長期にわたって執り行われるこの祭りは貴重で、日本の夏祭りを理解するうえで重要です。



観光交流センター「祭人」

2016年にユネスコ無形文化遺産に登録された「須成祭」について、2階の須成祭ミュージアムにおいて映像技術（バーチャル・リアリティ、プロジェクション・マッピング）を活用した展示や、祭りで使用する道具を展示することにより、須成祭に関する情報を一年中楽しみながら体感いただけます。1階では、Wi-Fiフリースポットの整備及び町内特産品を購入できる物販スペースとなっております。毎月第3土曜日はマルシェの日として開催しております。



無花果 いちじく

蟹江町は昔いちじくの大産地で名古屋や東京の高級料亭で食されていました。昭和34年の伊勢湾台風で甚大な被害を受け、激減しました。現在は蟹江ブランドのいちじくを再生しようと栽培を続け、蓬莱柿やホワイトゼノアなどは夏の終わりがごろから最盛期になります。スイーツや食材にも取り上げられ、町の名産品になっています。

酒

水郷蟹江の造り酒屋で昔は10数軒ありましたが、現在は2軒造り酒屋が木曾川の伏流水と濃尾平野の米とで造る酒は絶品です。新酒の頃はハイキングなどのイベントも開催され大好評です。



山田酒造



日強酒造



花卉

町内で盛んに行われているハウス栽培による花卉園芸。中でもポットマム（洋菊）の栽培は全国的にも有名で、質・量ともに全国屈指の生産地となっています。最近ではクリスマスに彩るポインセチアの出荷も増えています。

いな饅頭

蟹江町の特産物、120年前いな（ボラの幼魚）の内臓、骨、えらを取り除き、姿のまま中に味噌を詰めて焼き上げた逸品。味噌を餡に見立てて「いな饅頭」と呼ばれます。冬限定で要予約。

漬物

江戸時代に名古屋・納屋橋にあった料亭「得月楼」を前身とする、老舗の漬物屋があります。素材の味わいを生かした漬物作りに励んでいます。とてもカラフルでパッケージもかわいらしく、お土産にぴったり。定番の奈良漬から、季節のフルーツを加えた漬物、チーズの味噌漬けや寄せ豆腐まで、種類も豊富です。



特産物



カニンジャ ちょき丸



温泉

尾張温泉 東海センター

愛知県下で唯一「温泉療法医がすすめる日本名湯百選」にも選ばれた治療効果の高い源泉かけ流しの日帰り温泉施設です。泉質は単純温泉で低張性アルカリ性高温泉と低温泉で、湯量は毎分1,250L、500人が一度に入浴できる岩風呂・露天風呂が特徴です。



足湯かにえの郷

尾張温泉郷にある、気軽に利用できる源泉かけ流しの無料公共足湯です。タオル等はご持参下さい。



自然

蟹江川をはじめとする川

まちに一歩足を踏み入れると、そこには蟹江川・佐屋川・日光川・善太川・福田川・大膳川が南北に流れ、「水郷・かにえ」という心を開放するなごみが広がっています。まちを流れるこれら6本の河川は町の総面積のおよそ1/5を占め、「かにえ」の代名詞。かつてこの地を訪れた文豪・吉川英治も人々に安らぎを与える川の流を見て、「東海の潮来」と褒め称えたと言われています。近代化が進むにつれ水上を行き交う物・人の量は減っていきましたが、「蟹江町は川とともに生きるまちである」という事実は、今でも、そしてこれからも決して変わりありません。



希望の丘広場

当施設は高校の跡地を利用して造られ、視界いっぱいに広がる芝生広場は元気に走り回る子どもたちや、バーベキューを楽しむ人たちで賑わっています。水害時の避難場所でもある高台からは、季節によって色を変える鈴鹿・養老山脈や雄大に流れる善太川を一望できます。



史跡

富吉建速神社 八剱社

室町時代後期の建立といわれ、桃山時代の推移を示す建築技法が特徴です。前流れの美しい屋根と墓股が特徴です。昭和28年に国指定重要文化財に指定されました。8月に行われるユネスコ無形文化遺産の須成祭はこの2社の祭礼です。



龍照院

733年行基が創建した古刹で、真言宗智山派蟹江山常楽寺龍照院。本尊は国指定重要文化財「木造十一面観世音菩薩立像」で毎月18日がご開帳日。また木曾義仲の愛妾巴御前が建てたといわれる大日堂と文化財「大日如来像」があり、太閤秀吉お手植えの銀杏があります。

蟹江城址公園

1584年豊臣秀吉と徳川家康・織田信雄軍がこの城をめぐる激しい戦いがありました。蟹江合戦と呼ばれています。秀吉軍は敗退し徳川・織田軍が勝利します。翌年大地震で崩壊し、現在は本丸井戸と石碑が残る史跡になっています。



銭洗尾張弁財天 富吉神社

富吉神社に鎮座する銭洗い弁天の創建は、永享年間、北条平八郎時満が蟹江城を築く際、城の鎮守社として鎌倉の銭洗弁財天宇賀神の眷属である富吉龍大神を勧請したのが始まりとされています。時満は富吉龍大神に深く帰依し黄金の井戸を造営。その豊水で金銭を洗って福銭とし、蟹江城を築いたとされています。その後、城下町は尾張国有数の町として発展しました。現在でも財宝を洗えば福徳が授かり、また洗った小銭で商売をすると何倍にもなるとの言い伝えがあります。

